

なばなの里、弊社ハンギングシステム安定感抜群です！

今月は三重県長島町にある「なばなの里」を訪問させていただきました。「長良川水辺の夢のような小さな村」をコンセプトに敷地21万㎡と広大な面積を有する食と花と緑と温泉のテーマパークとして、1998年7月開園、今年で丸7年を経過することになります。リピータ客も多く年間来場者数100万を誇る人気スポットとなっています。

主な施設は「ベゴニアガーデン」「ビール園をはじめとする7つのレストラン」「天然温泉「里の湯」、ショップ「村の市」等で、全体が広大な池を中心にした回遊式の庭園となっています。この庭園内にはシーズン毎にさまざまな植物が植えられ、また見に行きたいとリピーターがつけかける工夫が施されています。この回遊式庭園以外に1万3千坪の「花ひろば」もあり、春は100万本のチューリップ、秋はコスモス、ダ

リアと季節毎の花が楽しめるポリューム感一杯で評判のエリアとなっています。

しかしメインの施設となっているのは9,000㎡の大温室に約5,000鉢の球根ベゴニアが四季折々に咲き乱れる「ベゴニアガーデン」です。南米アンデスを原産とする球根性ベゴニアは、夏涼しいヨーロッパの地で改良され、高温多湿がダメで、国内では梅雨のない北海道と本州の一部の高冷地でのみしか栽培できないとされていました。長島観光開発さんはこのターゲットに取り組み、この地で一年中ベゴニアを咲き続けさせることに成功されました。この成功の背景には完全な空調システムと弊社が担当したパキューム灌水システムが役立っています。バックヤードに設置した真空ポンプ・肥料供給装置と天井部に設置したハンギング鉢間はマイクロチューブで接続され、自動制御に

よって毎日定期的に肥料供給されません。根に吸収されないで残っている過剰液はタンクへ戻す吸引機構を装備し鉢からの水漏れゼロを実現、また吸引動作時に根圏へ酸素が強制的に供給されるので旺盛な生育が確保されるなどの二次的効果ももたらせています。しかし何といたっても驚くのは、この7年間トラブルらしいトラブルは一度もなく安定したシステムで助かっていると管理責任者北村明夫さんのお話。今はダリアが見頃ですが、11/25～1/29の間ウインターイルミネーションと銘打って120万球のLEDによるライトアップイベントが開催され、さらに魅力度がアップしますので、ぜひお出かけ下さい。今年新設されたフライングデッキ(名称アイランド富士)がお勧めビューポイントで、そこからの夜景は必見の価値ありですよとの事でした。(編集部)



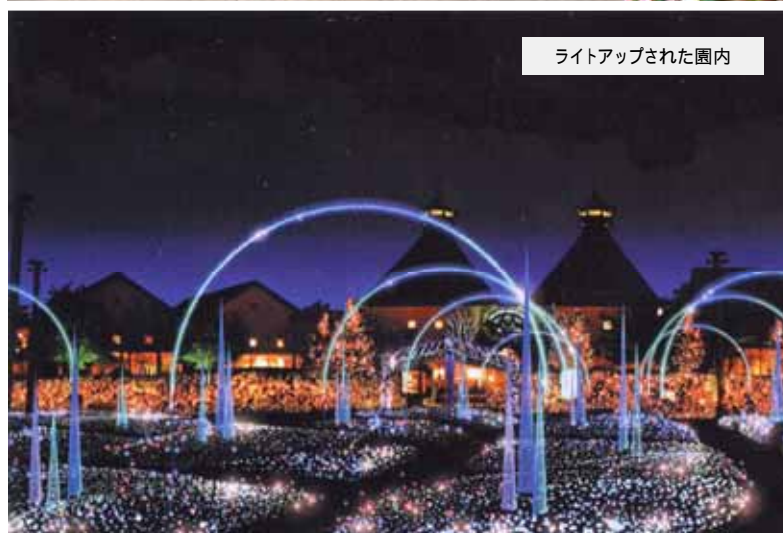
ベゴニアガーデン内部



フライングデッキ(アイランド富士)



今が見頃 花ひろばのダリア



ライトアップされた園内



1万種の花々が販売されている花市場